

特集：労働基準法

【労働基準法】

私たち労働者の基本的で最低限の権利を守るのが労働基準法です。労働者とは、正社員は当然のこと、嘱託やパート、アルバイトも含まれます。賃金、労働時間、就業規則・懲戒、年少者・妊産婦等の保護、育児介護休業、労働災害など多岐にわたり、労働契約の締結から退職までのすべての期間に及びます。この働く者を見守る法律「労働基準法」を解説した書籍を紹介します。なお、労働情報コーナーには、本になった後をフォローする雑誌も多数、揃えておりますので、ご利用をお待ちしております。



【書籍の紹介】

★**労働基準法 令和3年版上** 厚生労働省労働基準局 【編】
(労働法コンメンタール 3) 労務行政 (2022.5) R366.15/1/19

★**労働基準法 令和3年版下** 厚生労働省労働基準局 【編】
(労働法コンメンタール 3) 労務行政 (2022.5) R366.15/1/20

厚生労働省において、労働法令の運用について所管する部局による、行政解釈の逐条解説です。必要に応じて、解釈に裁判例や学説等を引用しています。近年のいわゆる働き方改革関連法の成立により改正された部分を含んで改訂されました。上巻は、労働基準法の概要などの法全体の解説と、労働契約、賃金、労働時間・休息・休日及び年次有給休暇の章である第41条まで、下巻は、安全及び衛生の章の第42条以降を扱います。

★**労働基準法・労働契約法 ー実務コンメンタールー 第2版**
労務行政研究所 【編】 (労政時報選書) 労務行政 (2022.3) 366.15/167
時間外労働の上限規制の導入、年次有給休暇取得の企業への義務付け、フレックスタイム制の清算期間の延長、高度プロフェッショナル制度の新設などの労働基準法の改正が、働き方改革関連法の成立により実施がされました。また、労働契約法においても、第20条とパートタイム労働法をパートタイム・有期雇用労働法へ統合する改正が行われました。これらの改正法令や通達などの内容を踏まえた解説を行っています。

★**労働基準法・労働契約法** 西谷 敏 野田 進 和田 肇 奥田 香子 【編】
(別冊法学セミナー no.263 新基本法コンメンタール) 日本評論社 (2020.8) R366.15/153/2
働き方改革関連法は、労働関連法令だけでも10余りの法令が改正されるという、大掛かりなものでした。特に重要施策とされた「罰則付き時間外労働の上限規制の導入など長時間労働の是正改善」及び「非正規雇用の待遇改善」はタイトルの法令の中核をなしています。この立法動向と歩調を合わせるかのように、判例においても最高裁で、新しい判例規範が生まれました。旧版を近年の判例などを紹介しながら時代に合わせた改正を行っています。



★まる分かり 2020 年改正労働基準法・雇用保険法・労災保険法・高齢者雇用安定法 ー速報版

改正内容を詳しい解説でバッチリ理解!!ー 労働新聞社 【編】 労働新聞社 (2020.4) 366.14/183

改正労働基準法は、改正民法の施行に伴い、給料にかかる短期消滅時効が廃止され、賃金請求権の消滅時効期間等が延長されるとともに、経過措置を講じるのが目的です。ほかに、雇用保険等の改正は、多様化する就業ニーズに対応したセーフティネットの整備、就業機会の確保、65 歳以上の短時間複数就業者に対する雇用保険の適応及び保険料率引下げの暫定措置など、タイトルに挙げられた関係法令の改正を紹介します。

★チャート労働基準法 改訂 11 版 労働調査会出版局【編】 労働調査会 (2020.3) 366.15/88/5

平成 30 年には、長時間労働の是正や同一労働・同一賃金の実現など、大きな柱となる働き方関連法が成立しました。この働き方関連法の成立により、労働法の関連分野の改正も多数でました。これらの改訂を、他との関わりを整理し直し、図解なども提示して視覚的に理解できるようにまとめたのがこの本の特徴です。労働基準法から分離された、労働契約法についても解説します。

★逐条解説労働基準法 角森洋子 産労総合研究所出版部経営書院 (2019.12) 366.15/165

2018 年に「働き方改革関連法」の一つとして、労働基準法が約 10 年ぶりに大きく改正されました。できるだけ読みやすくすることを念頭に置いており、労働基準監督官として勤めてきた中で、示された疑問なども含まれており、多くの解釈例規や判例、Q&A が掲載された労働基準法の逐条解説との思いから作成された書籍です。

★労働基準法 第 5 版 下井隆史 (有斐閣法学叢書 8) 有斐閣 (2019.8) 366.15/109/2

労働基準法をはじめ、労働契約法・労働者派遣法等を判例の解説も織りまぜながら、それらの法解釈を詳細に解説します。また、重要論点と思われる事柄については、「コラム」として別タイトルをつけて、わかりやすく記述します。平成 30 年に成立した「働き方改革法」にも対応した最新版です。より体系的に労働法を理解したい人に向けた本です。

★新よくわかる労働基準法 改訂 3 版 労働調査会出版局 【編】

(困ったとき読む本シリーズ) 労働調査会 (2019.3) 366.15/164

働く人にとって最も身近な法律は、労働基準法です。最新の労働基準法と関係法律を豊富な図解でコンパクトに解説しており、「面接時の約束と労働条件が違う」「残業が多すぎる」「突然、雇止めされた」など、困ったときに読めばよくわかります。改訂 3 版では、2019 年 4 月までの最新法令に対応するとともに、働き方改革関連法のポイントを巻頭で解説します。

★人事労務担当者の疑問に答える平成 30 年改正労働基準法 岩出誠 【編集代表】

ロア・ユナイテッド法律事務所 【編集】 第一法規 (2019.2) 366.15/163

平成 30 年に、働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律が成立し、労働基準法において「時間外労働の上限規制」や「年次有給休暇の時季指定義務」、「高度プロフェッショナル制度の創設」等の改正が行われました。本書は、改正労働基準法の概要や実務に与える影響を Q&A 形式で解説するとともに、改正後の就業規則の規定例や労使協定例を示したうえで実務上のポイントを解説します。